



かまくらのいろいろ紹介

かまくらづくり開始

まずは雪山を

これは秋田

雪山つくるぞ！

大きさは雪質次第で決めよう！

段取りを確認してから、かまくら作り開始！雪山を作ってから、すぐに穴を掘らないで雪がしまるまで寝かせると崩れにくいかまくらができます。



記念撮影も

固めタイム

子供が上に登ると

いよいよ穴掘り

丁度よく固まります

入り口は小さめに掘るのがコツ！

雪質がサラサラだと雪はかたまり難いので、かまくらを小さめに作ると崩れにくい。それと寝かせる時間を長めにするとよりしっかりします。雪山の上に登ってさらに固めました。



かまくら完成！

中のようす

たくさん入りました！

中はけっこう暖かい！

できました！

一時間ほどで出来上がってきました。最後にドイツウヒの林で拾った松ぼっくりや枝などでかまくらに飾り付けもしました。旗を立てたら完成です！



ランチタイム

そり山を整えて

後半は冬の代表的な雪遊び、ソリ遊びと雪合戦！まずはソリ遊びから。最近のソリはいろんな種類があって滑り方もいろいろです。

滑ります！

滑りました！

いただきます！

ランチはかまくらや室内で。つくきたてのお餅も食べました！

そり遊び



スコップ倒し雪合戦

倒れるまでもう少し！！

先に倒すぞ～！

ルールは2チームに分かれて、立たたスコップを先に倒したチームが勝ち！

意外と人気！

危なくないように天井を崩しました

かまくらこわし

わたしの思い出の「雪遊び」

雪が降ると子供たちは大よろこび！私の小学生の頃の思い出の「雪遊び」は、学校へ行く途中、家々の屋根の軒先のつららを棒でつついて落とす①つらら割りを楽しみながら、友達に雪玉を投げつけて②雪ぶつけをして登校した。家に帰ると、友達を穴に落とそうとたくらんで作った③落とし穴。雪をたくさん運んで固めて作った坂では、小さな竹製のスキー④竹スキーで

すべり、古いスキーに板を打ち付けて作ったそりで⑤そりすべりをして速さをあらそった。休日になると、⑥雪だるま作りや人が入る⑦雪穴ほり、大きな城を作って大勢で⑧雪合戦をする。丘をスキーで登り、帰りは一直線に丘をすべる⑨山スキーなどをして長い冬を遊びました。1日中遊んで、いつも体中雪だらけにして家に帰ると、母にしかられたことを思い出します。

コラム ゆう